

警戒区域及び計画的避難区域を対象とした詳細モニタリングの結果について

平成 24 年 1 月 24 日

内閣府原子力被災者生活支援チーム

内閣府原子力被災者生活支援チーム及び文部科学省は、「総合モニタリング計画」（平成 23 年 8 月 2 日 モニタリング調整会議決定）において「警戒区域及び計画的避難区域を対象とした詳細モニタリング」（以下、詳細モニタリングという）として位置付けられたモニタリング調査を計画的に実施し、適宜情報提供することにより、周辺環境の把握と対策の検討に資することとしている。

詳細モニタリングは、基礎データ収集モニタリング、広域モニタリング、個別詳細モニタリング、の 3 項目からなり、具体的内容について昨年 6 月 13 日に公表するとともに、7 月 1 日には基礎データ収集モニタリング結果を公表した。この基礎データ収集モニタリングの結果を踏まえ、警戒区域及び計画的避難区域において、以下の「広域モニタリング」を実施し、昨年 9 月 1 日に、その結果を公表した。

また、モニタリングカーによる走行サーベイ等を実施し、昨年 11 月 16 日に第一巡、第二巡の結果を、12 月 16 日に第三巡の結果を以下のとおり公表した。本モニタリングについては、定期的（約一ヶ月毎）に実施し、結果がまとまり次第、順次公表していく予定である。

1. 広域モニタリングの概要

(1) 実施期間：平成 23 年 7 月 4 日～8 月 20 日

(2) 調査場所：「警戒区域」

双葉町、大熊町、富岡町、南相馬市（一部）、浪江町（一部）、
葛尾村（一部）、田村市（一部）、川内村（一部）、檜葉町（一部）

「計画的避難区域」

飯舘村、南相馬市（一部）、川俣町（一部）、浪江町（一部）、
葛尾村（一部）

(3) 測定点：対象地域を 2 km メッシュに区切り、基礎データ収集モニタリングのデータをもとに、1 メッシュあたり 20 点程度を選定*し、空間線量率を計測（1 m 高さ、1 cm 高さ）。

*各メッシュを 16 分割（500 m × 500 m）した代表点及び人の集まる場所
（学校、公共施設、公園、ショッピングセンター、スーパー、神社・寺社等）
など多様な環境を選定

(4) 測定結果：広域モニタリングの結果は別紙1-1のとおり。

※各市町村における詳細なデータについては、下記URLに掲載。

<http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20110901.html>

(5) 実施者：電力中央研究所、東京電力

2. モニタリングカーによる走行サーベイの概要

(1) 実施期間：(第一巡)平成23年8月 2日～ 8月30日

(第二巡)平成23年8月31日～10月 9日

(第三巡)平成23年10月1日～11月 4日

*第二巡の終了日と第三巡の開始日が逆転しているが、モニタリングカーの効率的運用の都合上、一部で逆転が生じたものである。

(2) モニタリング項目及び計測場所

	モニタリング項目	計測場所
モニタリングカー	道路上の地上1mにおける空間線量率(車内の線量率から換算)	警戒区域および計画的避難区域の主要な道路(国道、県道、主要地方道、生活道路)

(3) 測定結果：走行サーベイ(最新・第三巡)の結果は別紙1-2のとおり。

※走行サーベイ(第一巡～第三巡)の結果データについては、下記URLに掲載。

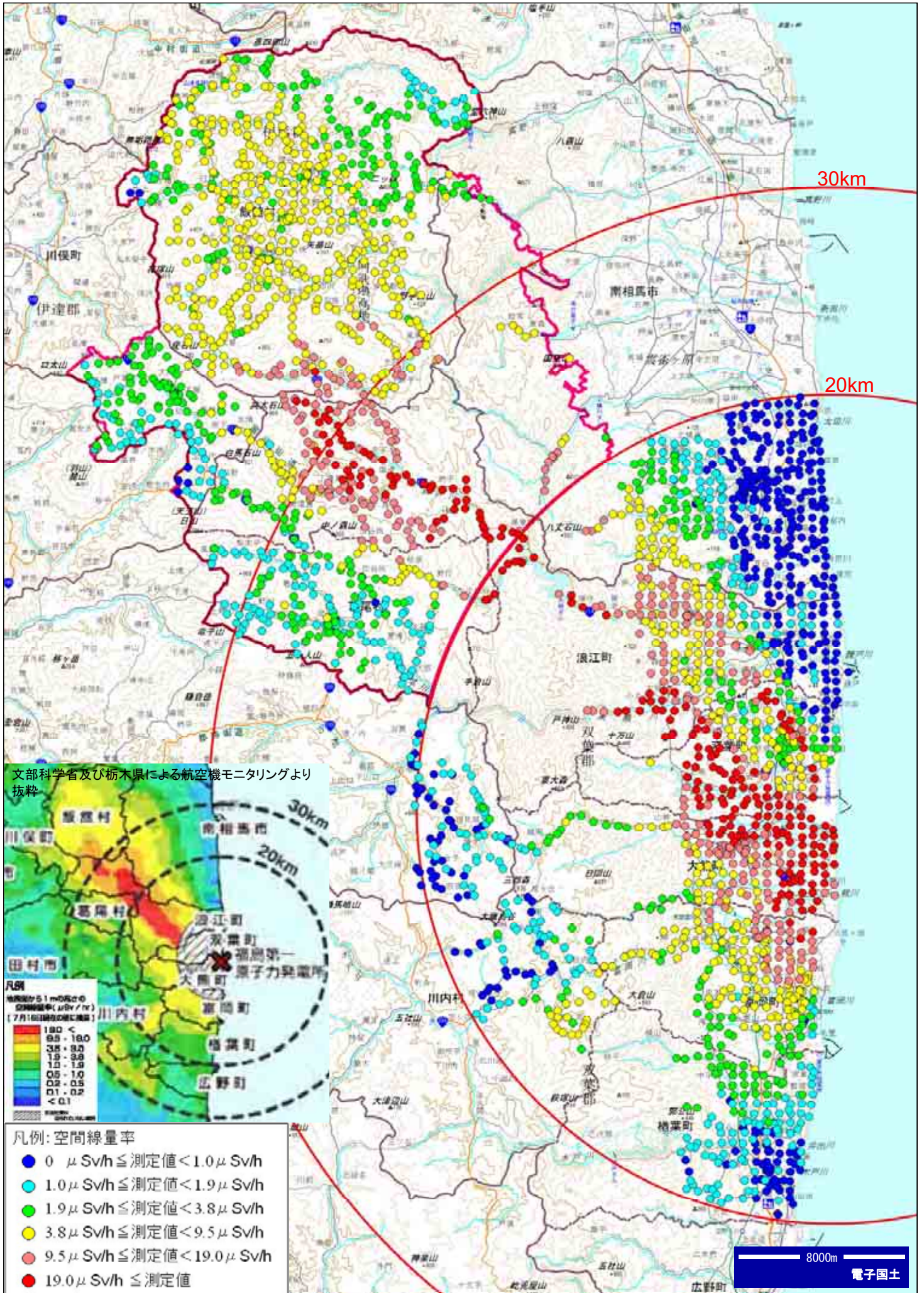
第一巡・第二巡：<http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20111116.html>

第三巡：<http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20111216.html>

(4) 実施者：電力中央研究所、東京電力

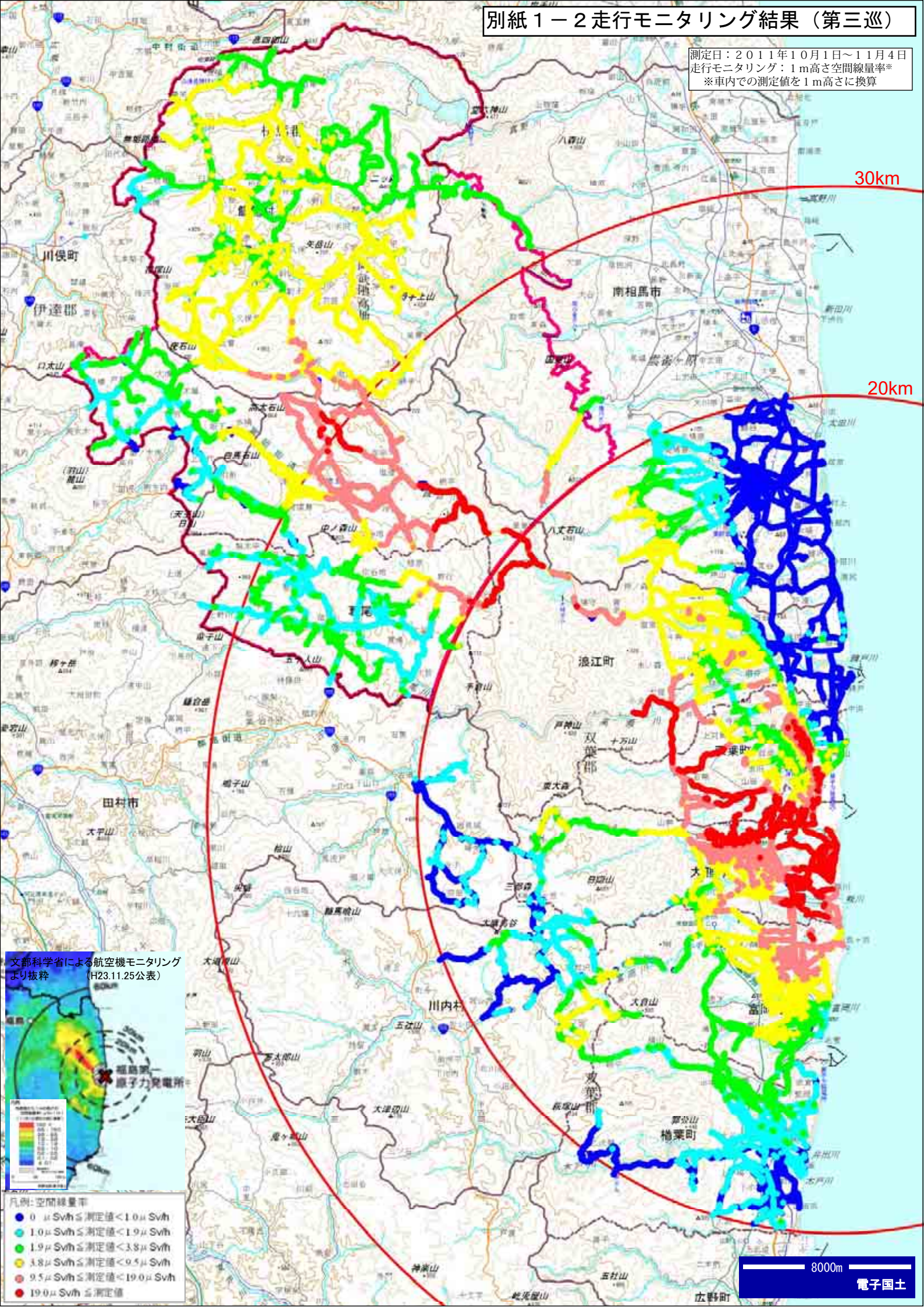
以上

広域モニタリング結果全体マップ(1m高さ)



別紙1-2 走行モニタリング結果 (第三巡)

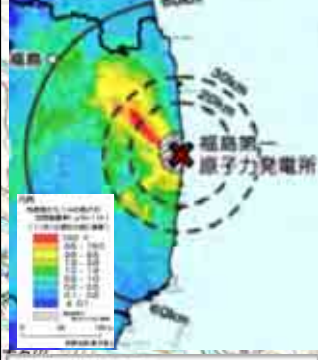
測定日：2011年10月1日～11月4日
 走行モニタリング：1m高さ空間線量率*
 ※車内での測定値を1m高さに換算



30km

20km

文部科学省による航空機モニタリング
 より抜粋 (H23.11.25公表)



- 凡例：空間線量率
- 0 μSv/h ≤ 測定値 < 1.0 μSv/h
 - 1.0 μSv/h ≤ 測定値 < 1.9 μSv/h
 - 1.9 μSv/h ≤ 測定値 < 3.8 μSv/h
 - 3.8 μSv/h ≤ 測定値 < 9.5 μSv/h
 - 9.5 μSv/h ≤ 測定値 < 19.0 μSv/h
 - 19.0 μSv/h ≤ 測定値

8000m

電子国土